

豊かな能美暮らしを未来へつなごう！



SDGs

問 / 市長戦略課 SDGs 推進室 (☎ 58-2220 ㊟ 58-2291)

SDGsってなんだろう？

SDGs (Sustainable (サステナブル) Development (開発) Goals (ゴールズ))は日本語で持続可能な開発目標と訳され、2030年までに持続可能でより良い社会を目指す国際目標のことで、経済・環境・社会の課題を解決するための17のゴール・169のターゲットから構成され、『誰一人取り残さない』ことを誓っています。



「誰一人取り残さない」ために何をやるの？

能美市では、「多様性の理解」のためのグローバル教育を推進しています。



目標4 質の高い教育をみんなに

4 質の高い教育をみんなに

『だれもが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう』

目標4には、10のターゲットがあります。例えば、ターゲット4-7には・・・『2030年までに、教育をうけるすべての人が、持続可能な社会をつかっていくために必要な知識や技術を身につけられるようにする。そのために、たとえば、持続可能な社会をつくるための教育や、持続可能な生活のしかた、人権や男女の平等、平和や暴力を使わないこと、世界市民としての意識、さまざまな文化があることなどを理解できる教育をすすめる。』となっています。公益財団法人日本 unicef 協会ホームページより

できることからやってみよう

2030年の先へつなごう！



多様性を理解して、思いやりの心を育てる

今、グローバル時代に生きる子どもたちには、多様性とグローバル社会の理解が不可欠となっています。市では、子どもたちが多様性やグローバル社会の正しい理解に基づいた意識、思考、知識、態度、行動の全てにおいてたくましく成長していくことを目的とし、宮竹保育園、宮竹小学校、辰口中学校、寺井高校をモデル校に指定し、北陸先端科学技術大学院大学の協力を得ながら、公教育15年間の切れ目のないグローバル教育の推進に取り組んでいます。このような取り組みを継続的に展開し、子どもたちが個人の能力や特質を理解し尊重できるようになり、「多様性の理解」が深まります。さらに、相手を理解することでいじめや差別がなくなり、人と人が互いに認めあい、支えあえる共生社会の実現につながります。

主要行事・イベント実施予定

問 / 問い合わせ

7月

15日(木) ふれあいあいさつデー
朝の登校時間に子どもたちへ声かけをお願いします。
問 / まなび文化課 (☎ 58-2272 ㊟ 55-8555)

被災地を巡る東日本・家族応援プロジェクト 家族漫画展

東日本大震災の被災地でも開催されている団 士郎 (だん しろう) さんの代表作「木陰の物語」の家族漫画展を能美市で開催します。困難に直面し、それを乗り越えた物語に触れることで、自らの体験に思いを巡らせ、「誰の人生にもいろいろなことが起きるが、それでも人は何とかやっていくのだ」と思える。何も励ましてこない漫画がなぜ心に沁みる。家族漫画展は、そんな気持ちにさせてくれる家族の日常を題材にした作品です。トークではスライドショーに合わせて物語の制作余話など笑いあり涙ありの時間をお楽しみください。

日 時 ●漫画展 7月10日(土)～7月25日(日) 9時～16時
7月12日(月)・7月19日(月)は休館日
●トーク 7月18日(日) 10時30分～12時 受付開始10時～

入場無料
●トークのみ 要事前申込 (定員50人)

場 所 市防災センター5階研修室 **講 師** 立命館大学教授 団 士郎さん

申し込み・問い合わせ 危機管理課 (☎ 58-2201 ㊟ 58-2290)
※新型コロナウイルス感染状況により、変更・中止する場合があります。



ひぼ・ゆずのEcoごっこさア



マークを参考にゴミを分けて出しましょう
ごみの分別で迷ったときは、リサイクルされるものかどうかを表す識別マークを参考にしてください。

プラスチック製容器包装マーク	ペットボトルマーク	飲料缶の識別マーク	
プラスチック製容器包装専用袋に入れてください	・つぶさずに出してください ・キャップ・ラベルはプラスチック製容器包装へ	・プルタブはつぶさずに出してください 海苔缶・ミルク缶などもスチール缶です	



問い合わせ
生活環境課
(☎ 58-2217 ㊟ 58-2292)

連載

有料広告

有料広告

有料広告

有料広告

有料広告

有料広告



問/能美ふるさとミュージアム (☎58-5250 ㊟58-5251)

コラム

能美ふるさとミュージアム設備紹介 ～六角形の体験棟～

今回は能美ふるさとミュージアムの六角形をした体験棟をご紹介します。
なぜ体験棟が六角形をしているかご存じですか?実は、のみふるに隣接する和山古墳群の1号墳から出土した「六鈴鏡」をイメージしているのです。6つの鈴が付いたこの鏡は、神に仕える巫女など神聖な役割を持った女性が所持していたと考えられており、北陸唯一の出土品で大変貴重なものです。また、のみふるの前身とも言える、「能美市立歴史民俗資料館」の展示室も六角形をしていました。能美の歴史や民俗を守り伝えてきた「能美市立歴史民俗資料館」の伝統を受け継ぐ、という思いも、この六角形の形には込められているのです。



上空から見たのみふる体験棟

体験棟は半分が大きなひさし状になっており、もう半分は屋内施設です。ひさしの下では火おこし体験などができ、強い日差しや雨除け、のみバスの待合スペースとしても多くの方にご利用いただいています。屋内施設では、勾玉づくりなどの体験講座が行えるよう、水道や多くの電源を備えています。また、特徴的な形や木造の温かみのある雰囲気を活かして、オリンピックの聖火展示、桜花の生け花展示や、九谷焼ウルトラマンシリーズの展示会なども開催されました。



六鈴鏡 (和山1号墳出土)

7月22日に始まる夏季企画展連携イベントでは、昔あそびを体験できるスペースとして活用を予定しています。特徴的な外観に、歴史と伝統を受け継ぐ思いが込められた体験棟。外から、中から、ぜひ楽しんでみてください。

お知らせ

夏季企画展と連携イベント

展示 夏季企画展「能美・夏ものがたり ～太郎くんの夏休み～」

昭和30年代、夏。夏休みにおじいちゃんの家へやってきた太郎くん。太郎くんの夏休みを通して、なつかしい能美の夏の暮らしを紹介します。当時使用された道具の実物展示のほか、昔話に登場する生き物の標本、当時の家の縁側や駄菓子屋さんの再現展示も行います。懐かしい、あの頃の夏を感じてみませんか?

▶会期 7月22日(木)～8月29日(日) (観覧料無料)

昔あそびをしてみよう

コマや剣玉、めんこなど、昔ながらの遊びに挑戦!

▶日時 夏季企画展会期中の土曜日・日曜日

午前10時～午後4時30分 (参加費無料)

※8月7日・8日はイベントのため休止

▶参加方法 受付で配布する用紙に必要事項を記入し、道具を借ります。使用後は受付に道具を返却してください。※小学生未満は保護者同伴

※密を避けるため参加人数を制限する場合があります

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況に応じて開催を中止する場合があります。また、来場の際は、検温、マスクの着用、手指の消毒など基本的感染対策のご協力をお願いします。

水鉄砲・紙鉄砲を作ってみよう

水鉄砲、紙鉄砲の仕組みを学びながら、竹を使って工作!できた水鉄砲を使った当大会も実施予定です。

▶日時 8月7日(土)、8日(日)10時～12時

▶講師 C C館児童館ワーキンググループの方

▶参加費 500円 ▶定員 各7組(先着順)

▶対象 小学生親子(祖父母可)

▶服装・持ち物 濡れてもよい服装、タオル

▶申込期間 7月13日(火)～25日(日)

※定員に達し次第受付を終了します。

防災サプリ

不足しがちな「防災」を補います

問/危機管理課 (☎58-2201 ㊟58-2290)

おさえおこう 避難のポイント

新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中、今年も大雨や台風の時期(出水期)がやってきました。コロナ禍における避難のポイントについて確認しましょう。

出水期に備えるポイント

1. 浸水想定区域と土砂災害警戒区域をハザードマップで確認しておきましょう。(防災ガイドブック52ページ～)
2. 自宅が浸水想定区域または土砂災害警戒区域に該当する場合は、危険が迫ったときに「どこへ避難するか」を決めておきましょう。
3. 避難情報が発令されたとき、または自分自身が「危険だ」「不安だ」と感じたときは、「躊躇せず」避難しましょう。



避難情報改正のポイント

▶「高齢者等避難」で高齢者や避難に時間のかかる方は避難を開始

「高齢者等避難」では、高齢者に限らず、避難に時間のかかる方は避難しましょう。高齢者以外の方も、避難の準備をしたり、予定を見合わせるなど、避難に向けた備えをしてください。

能美市から「高齢者等避難」が発令されました。

われらは早めに避難じゃな



▶「避難指示」で危険な場所から全員避難

「避難勧告」は廃止になり、これまでの「避難勧告」のタイミングで「避難指示」が発令されるようになりました。危険な場所にいる方は、全員この段階で避難してください。

避難指示



避難指示が出たのだ避難するのだ

コロナ禍における避難のポイント

避難所では感染症対策として、避難者スペースを広く確保し、衛生管理にも努めます。市民の皆さまには、避難時に次のポイントについてご理解をお願いします。



▶避難所だけじゃない「難」を「避」ける方法

安全な地域の知人・親戚宅や、自宅の場所が安全であれば自宅にすることも避難です。事前にハザードマップ等で安全な場所を確認しておきましょう。

▶非常持出袋にプラス

消毒液やマスク、体温計など感染症対策に役立つものを非常持出品としてプラスしましょう。

▶コロナ禍の避難所でのルール

避難所では手洗い、マスク着用、大声を出さない、会話を控える、十分な換気など、感染症対策の徹底にご協力をお願いします。

能美市防災ガイドブック

能美市にお住まいの方に配布している防災ガイドブックには、災害前の備えや、いざ災害が起こったときにとるべき行動など、防災に役立つ情報が満載ですので、ぜひご利用ください。避難についても詳しく載っています。※法改正等で一部変更となった箇所があります。修正箇所等については、今後広報紙等でお知らせいたします。

防災ガイドブックは市ホームページでも公開しています。

(右のQRコードからアクセスできます。)





いしかわ動物園にズームイン!

Zoo

文：いしかわ動物園

■「ふれあい体験館」を楽しもう②

先月号に続き「ふれあい体験館」についてお伝えします。今回は、体験館を建物の外側からも楽しむ方法と人気のモルモットの行進についてです。

「自分がされて嫌なことは、動物も同じ」という飼育員からの説明を守ってウサギの温もりを体験したら、建物の外へ出て、入口とは反対側にある屋外の放飼場をのぞいてみましょう。ウサギたちが、穴掘りをしていませんか。当園で飼育されているのは、地中海沿岸が原産のアナウサギを愛玩用に品種改良したカイウサギです。文字どおり、もともとは地中に掘った穴をねぐらとする種で、穴掘りは習わずとも身についた習性。このような本来身につけている習性をご覧いただけるのも、従来の施設ではなかったことです。

体験館では、ウサギとのふれあいの他にも、時間限定で飼育員の笛に合わせてモルモットが行進する様子を公開予定です。また、インコの手乗り体験では、指から指への移し方を飼育員から教わるかもしれません。そして、もし不思議に思うことがあれば、近くの飼育員に気軽に疑問をぶつけてください。体験館を、動物たちとのふれあいだけでなく、飼育員との交流の架け橋となる施設としても、ぜひご体感いただければと思います。



ウサギとのふれあいを楽しむ親子



モルモットの行進練習

みんなの図書館

※開館時間、休館日については、市ホームページ、各図書館だよりをご覧ください。

おすすめの一般書



カード師

中村 文則 [著]
朝日新聞出版

占いを信じていない占い師、そして客を翻弄する違法カジノのディーラーでもある「僕」はある組織から依頼され、正体を隠して奇妙な資産家の顧問占い師になるが…。

おすすめの児童書



しんぱいせんせい

北川 ちはる [作] 大野 八生 [絵]
佼成出版社

初めての遠足に出かける、人見知りのたつやと心配性のしんべい先生。そこで起きた小さな事件が、ふたりを変えていき…。先生と1年生、新米ふたりのさわやかな成長物語。

企画

夏のどくしょスタンプラリー

本を借りると、台紙にスタンプを押します。スタンプ30個で手作りプレゼントと交換！
台紙は各図書館にあります。

期間 7月17日(土)～8月31日(火)
対象 市内在住小学生以下の方



休館のお知らせ

寺井図書館 7月21日(水)
休館のお知らせ

寺井図書館は、毎月第4金曜日が資料整理休館日となっておりますが、7月は23日(金)と前日22日(木)が祝日のため、21日(水)が休館となります。ご了承ください。



情報発信元 能美市九谷焼美術館 | 五彩館 |
【入館料】一般 430円・75歳以上 320円・高校生以下無料
※浅蔵五十吉記念館もあわせて入館いただけます。
【問い合わせ】☎ 58-6100 ⑤ 58-6086
ご来館の際は、基本的感染対策（マスク着用・検温・手洗い等）にご協力をお願いします。

今月のIPPIN! 「粟生屋源右衛門 山水文木瓜形平卓」

江戸後期に活躍した再興九谷の名工に粟生屋源右衛門がいます。小松市材木町に父の代からの楽焼工房がありましたが、「若杉窯」の主工本多貞吉に師事し色絵釉薬を探究していました。貞吉の没後、文政7年(1824)に古九谷窯跡の地に開窯した「吉田屋窯」の主工となって古九谷復興に尽力しました。一方で、自家工房では木工芸品とするような色絵の陶器を制作し、茶人や数寄者の好みに応じるなかで、雅趣豊かな作品を制作しました。硯箱や香炉、卓や果ては筆筒まで陶器で成形し、寒色系の絵の具で見事な絵文様を加飾しました。本作は、漆芸品にみられるような「平卓」の形を陶器で再現し、天板には山水画、胴回りの窓絵には花鳥画を確かな画力で描いたまさにIPPIN!です。(文・五彩館館長 中矢)



粟生屋源右衛門 山水文木瓜形平卓
サイズ 横 32.5 / 縦 24.7 / 高 18.5cm
年代 19世紀
所蔵先 能美市九谷焼美術館 | 五彩館 |

■「わが人生の歩み 陶壁と無鉛釉の世界」

会期 7月20日(火)～8月1日(日)
場所 浅蔵五十吉記念館
内容 日展作家で日本芸術院会員として活躍しておられる武腰敬昭氏の作陶の軌跡を追う個展です。

INFO



今月の手話

手話表現：移住アンバサダー 林 葵さん (ヨガインストラクター)

移住アンバサダーとは、市の魅力発信、移住希望者への情報提供やサポートなどを行っていただく人です。

得意



①-1、①-2 親指と小指を立て、親指側を鼻に当てるようにし、斜め上方向へ手を伸ばす。(鼻高々なイメージ)



苦手



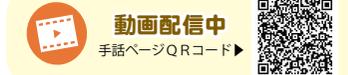
中指で鼻を軽く押さえる。(「得意で鼻高々」の反対のイメージ)

スポーツ



両手を開いて、交互に回す。(手を振って走っているイメージ)

動画で「私の得意なスポーツはテニスです。ヨガも好きです」「私はスポーツが苦手です」の手話表現をご覧ください。ぜひ、アクセスしてみてください！



問 / 福祉課 (☎ 58 - 2230 ⑤ 58 - 2294)

わたしとこの町

File46 長滝町



能美ふるさとミュージアムには、七ツ滝など、長滝町に関する展示もあり、皆さん興味を持ち、楽しんでいただいています。



昨年11月に開催したおでかけサロン。コロナが終息したら、今年もおでかけ先を変えて開催したいと西田さんは話しました。

長滝町は、世帯数が25件ほどの小さな集落です。また、そのほとんどが65歳以上の高齢者がいる世帯で、高齢化が進んでいます。

私は、福祉推進委員として、長滝町のいきいきサロンや、こぶし会（女性老人会）のお世話をしています。現在、いきいきサロンは年2、3回開催し、私は日取りの調整、内容の企画、演者との連絡、町民への周知、当日のお世話など、総合的にマネジメントをしています。

長滝町のいきいきサロンは、全世帯に声を掛けます。小さな集落なので、参加者が少ないと演者の方に申し訳ない、と皆さん積極的に参加してくれず、男性も多く、演者の方に驚かれたり、喜んでいただけたりすることもあります。

昨年の秋に、おでかけサロンを初めて開催しました。おでかけ先は能美ふるさとミュージアムで、車椅子を4台手配して、14人で行きました。足腰の悪い方はみんな介助して見学しました。また、息子さんがお母さんの車椅子を押しながら展示物を楽しむ姿もあり、地域の絆、家族の絆が深まる



いきいきサロンのお世話をしている

にした かずみ
西田 和美さん

ような、印象的なサロンでした。開催して良かったです。

孫と一緒に集落を散歩していると、ご近所さんから、○○さんは今▲▲へ行っている、●●さんは元氣やよと、自然と情報が入ります。長滝町ならではの、見守り合い、助け合いの一つの形のように感じています。誰が言い出すまでもなく、神社周辺や山道、公園などの草刈りをしてくださる町民もいて、互助の精神があるこの町が私は好きです。

これからも、コロナの様子を見ながら、長滝町らしい、いきいきサロンを開催していきたいと思っています。

File45 末信町



写真は演奏する津田さん。津田さんは、歌や津軽三味線などにも挑戦しており、歌では、山中節振興会で最上級の奥伝に認定され、津軽三味線では、全国大会で準優勝されています。

私は、石川県民謡協会から三味線教師として認定され、三味線を多くの方に教えています。

私が三味線と出会ったのは、学校の帰り道にあった飲み屋から三味線の音色が聞こえてきたときです。美しい音色に心引かれ、いつか自分も演奏してみたいと感じるようになりまし。

学校を卒業してからお金を貯めて三味線を購入し、独学で勉強を始めました。譜面が書かれた本を



寺井町民謡会による発表会後の記念の一枚。

たくさん買い、いろんな曲を演奏するのが楽しかったです。そして、このまま独学で良いのかと悩み始め、もっと演奏する場がほしいと感じていたところ、知り合いの尺八の先生や歌の先生に誘われ、三味線奏者として、金沢民謡会の活動に参加することになりました。

曲引きも良いですが、歌と合わせて演奏するのも好きです。満足できる演奏ができたときは、ほんとは気持ちがいいですし、聴いている方に楽しんでもらえる、私も楽しい気持ちになります。

三味線を通して、多くの出会いもありました。演奏仲間とのバス



石川県三味線教師

つだ ともお
津田 外茂夫さん

旅行で、お酒を飲みながら三味線や音楽について語り明かしたのとても楽しい思い出です。

現在、津田流三絃会という団体として、毎週土曜日、寺井地区公民館で三味線の稽古をしています。

また、末信町ボランティア音楽グループ「ヤンチャーズ」として、地域の老人会などの集まりで三味線を演奏しています。新型コロナウイルスの影響により、メンバーで稽古する機会や発表会などが減ってしまっため、早く終息し、みんなが集まって演奏したいなと思っています。もっと若い人にも三味線の良さを伝えたいなと思っています。